

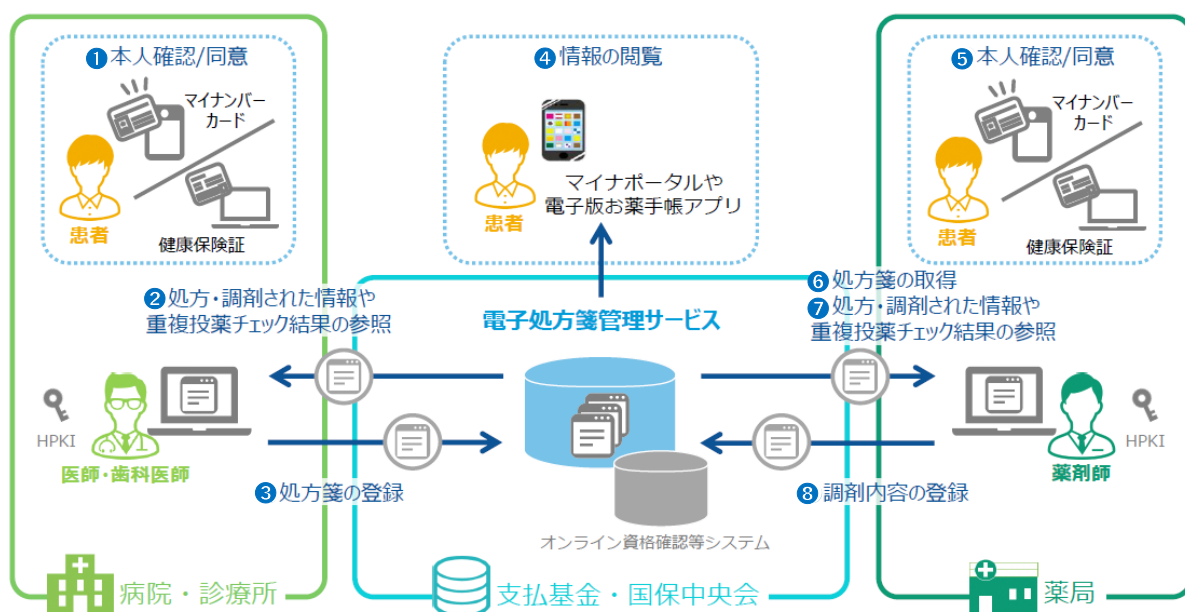
電子処方箋の運用が始まりました

1月26日全国の医療機関・薬局において、電子処方箋の運用が始まりました。電子処方箋はこれまで紙でやりとりしていた処方箋を、医療機関と薬局が電子的にやりとりする仕組みで、正確で効率的な医療提供が期待されています。

ただ、対応している医療機関・薬局が非常に少なく、1月26日までに対応済みの薬局は全国で138店舗と全体の0.2%という状況で、医療機関においては6施設、クリニックで10施設とさらに少ない状況となっています（2023年1月26日現在）。

1 電子処方箋とは

電子処方箋はこれまで紙でやりとりしていた処方箋を、電子処方箋管理サービスを介して医療機関と薬局が電子的につながることで、患者の服用している薬の一元管理を行い、飲み合わせや重複などをチェックしたり、医療の効率化やペーパーレス化を実現できます。



2 電子処方箋のメリット

医療機関

- 情報をリアルタイムで取得でき、正確な情報をもとに診察・処方が行える
- 薬の重複投薬、併用禁忌をリアルタイムでチェックできる

患者

- 自分の処方薬について、過去3年分のデータが参照できる
- 薬の重複、併用禁忌のチェックにより不要な薬が減る
- 正確な情報をもとに診察が受けられる

薬局

- 正確な処方情報をもとに薬の調剤が出来る
- 処方情報をレセコンに取込める為、手入力が軽減され、入力ミスが減る
- 紙の処方箋を保管する必要がなくなり、保管スペースやファイリングが不要になる

3 カメイ調剤薬局での取組み

カメイ調剤薬局においても、患者サービスの向上、業務の効率化や正確な調剤の実現のために、電子処方箋に対応すべく現在準備を進めております。

2月から各店舗に設置を進め、3月末までに設置を完了。4月3日から全国のカメイ調剤薬局全店舗において、電子処方箋システムの運用を開始する予定です。

運用開始についてはカメイ調剤薬局ホームページにてお知らせいたします。もうしばらくお待ち下さい。